

DV 被害をなくしていくために

DV 加害者が変わるための プログラムを実施しています

加害者が変わること それがいちばんの被害者支援

「パープルリボンまゆら」は
DV 被害をなくしていくための活動をしています

若い世代へのデート DV 予防教育講座に
講師を派遣しているほか
被害者支援の一つの方法として
DV 加害者の行動変革のための
教育を実施しています

加害者向け教育プログラムでは
加害者同士のグループワークによって
暴力から離れることを学びます

加害してきた彼らが 学び
考えのまちがいに気づき 暴力をやめること
つまり 変わること

それがいちばんの被害者支援
わたしたちは そう考え活動しています

- ・ DV 被害者支援のための加害者教育
- ・ デート DV 防止講座実施団体
「パープルリボンまゆら」

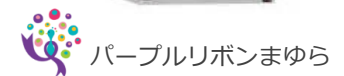
各種お問い合わせはホームページから

パープルリボンまゆら で検索

被害体験者さんの生活再建のためにお力添えを

【ご寄付の振込先】

ゆうちょ銀行 店名 八ー八(ハチイチハチ) 店番 818
普通預金口座番号 4228671 パープルリボンまゆら



■グループワークで行う DV行動変革の教育プログラム

- ・週に1回、2時間のプログラム
- ・対象者…暴力の問題を抱えていて、
 - ① 暴力をやめたいという意思を持つ人
 - ② 精神疾患のほかアルコールなど依存の問題を抱えていない人
 - ③ 原則としてパートナー面談が可能な人



■グループワーク参加者の発言から



「自分が加害者だとか犯罪者なんて絶対認めたくなかった」
・
「なかなか変われなくて、通うのがつらくなることもある」
・
「相手も自分も苦しむこの暴力性を何とかしたい」
・
「今までほんとうにやっちゃダメなことをしてきた」
・
「別居から同居になったが、日々が訓練だと実感する」
・
「相手も自分も同じく大切というのがわかるようになった」
・
「今なら、相手が離婚を言い出したら従ってもいいと思う」
・
「その人にはその人の人生があるとわかった」
・
「はじめてパートナーに申し訳ないという気持ちになった」
・
「子どもには自分のようになって欲しくない」
・
「パートナーにした暴力のことを話せるのはここしかない」

■小学校・中学校・高等学校・大学向け 「デートDV・DV防止教育セミナー」

ロールプレイ(寸劇)やDVD上映、クイズなどを取り入れ、わかりやすくお伝えする人気講座です

--参加者アンケートより--

「デートDVは身近にあるとわかって驚いた」
「なぐるだけが暴力じゃないというのは知らなかった」
「自分がされていたのはDVだと気がついた」
「他の学校の生徒にもぜひ伝えて欲しい」

